

キュウリ生産のトップランナー・JA西三河きゅうり部会 11月上旬、冬春キュウリの出荷スタート

西尾市内の冬春キュウリ生産者で組織するJA西三河きゅうり部会（高原敏明部会長）は、11月5日より、JA西三河池田センター（西尾市一色町）で平成28年産冬春キュウリの機械選果を開始します。

■今年のキュウリの作柄（10月20日現在）■

10月上旬の定植から中旬にかけての台風と長雨の影響で日照量が少なく、苗の生育は遅れ気味。今年の出足は10月下旬以降の天候の回復次第です。

■西尾のキュウリ生産■

JA西三河は経済界と協力して農業用ICTツールを開発・改良し、主に施設園芸作物への導入を進めています。

JA西三河きゅうり部会はICTツール導入をいち早く進め、現在40人の部会員全員が環境測定器「あぐりログBOX」と食・農クラウド「Akisai（秋彩）」を導入。ハウス内の温度・湿度・CO2濃度の推移や、農薬・肥料の施用の情報を共有し、部会内の委員会で検討を加え、ノウハウ化を目指しています。

データを基にした部会員同士の情報交換も盛ん。高品質のキュウリを適正価格で販売することを目標に、常に新たな挑戦を続けています。

【JA西三河きゅうり部会 概要】

部会員数：40人 のべ生産面積：約11.4畝

生産量：約3100ト（見込み）

出荷先：主に愛知県内の市場

収穫期：11月～6月（ピークは4月）



キュウリ選果風景（池田センター）



キュウリのハウスの中で環境測定器「あぐりログBOX」のデータを確認する農家

■取材対応日■

【日時】11月8日（火） 午前10時開始

【場所】JA西三河 池田センター（西尾市一色町池田東八反15 電話：0563-72-1633）

※ 取材される報道機関の方は、JA西三河企画課の岡田までご連絡ください。